

土蔵に特有の暗さ・低さのマイナス面を逆に活かして利用し、新設した小さな開口部からの採光・通風を効果的に取り入れ、空間の低さを逆に室内の落ち着きに変えるなど、生活する為に必要な内容と最小限の手を加えることで、土蔵の本来の良さを引き出している。

リフォーム前後の写真

after



1: 2階の新設した開口部からアルプス連峰を望む



2: 外観は極力既存のままとし、補修のみにとどめる



3: 1階居間



4: 2階吹抜



5: 1階居間北側窓



6: 厨房



7: 階段



8: 2階居間



9: 2階寝室



10: 北側夜景

before



a: 南側外観



b: 1階内部



c: 2階内部

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

＜リフォームの動機＞現当主が定年退職を機に郷里安曇野へUターンで戻ることになりました。所有する敷地内にあった土蔵を生かし終の住処にしたい、という考えから今回の計画がスタートしました。

＜設計・施工の工夫点＞土蔵の、住宅としてはマイナスの特徴である暗さ・低さを逆に利用し、新設した小さな開口部からの採光・通風を効果的に取り入れ、低さゆえの室内の落ち着きへと変えていきました。

＜施主の感想＞ 百十年近い歴史を刻んだ柱や大戸が安堵感を与え、それらと調和した新しい無垢の床板や全面漆喰の壁が、自然の中にあるよ

うな心地よい空気感に日々癒されています。北アルプスの峰々と安曇野の田園風景が一望できるピクチャー・ウィンドウに、四季折々、感動を新たにしています。古い蔵をこのようにリフォームしていただいたことで、またとない素晴らしい住まいになり、心から満足しています。

＜住宅の価値を向上させた点＞生活する為に必要な内容に、最小限の手を加える引算の考え方で、土蔵本来の持つ長所を引き出す方法を取りました。最大の特徴である壁の厚みは、冬期の蓄熱・夏期の蓄冷で年間を通して快適な住環境となり、包まれられているという感覚になります。

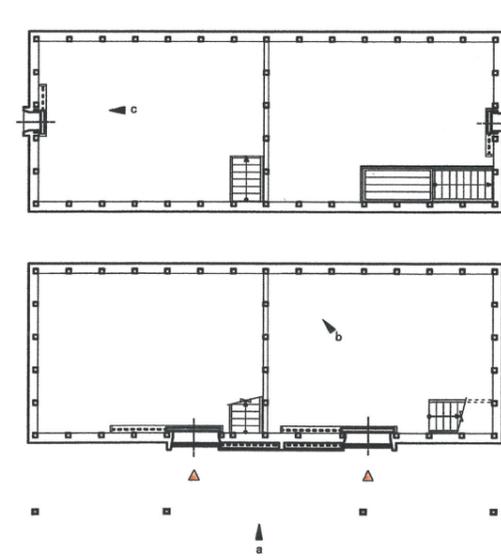
性能向上の特性
耐震性能、耐久性能、バリアフリー性能、温熱性能、室内空気環境

特に配慮した事項
耐震性能・・・土間コンクリート打設及び土台・柱の金物補強
室内空気環境・・・通風対策として北外壁面に開口部の新設

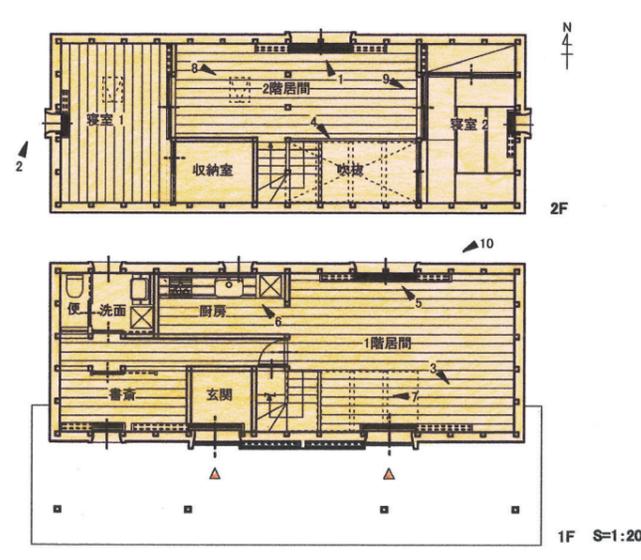
データ

所在地	長野県安曇野市	築後年数	109年	施工期間	210日間
該当工事床面積	110.72㎡ / 総工事床面積 110.72㎡	該当部分工事費	1800万円 / 総工事費 1800万円		
居住者構成	65歳以上：0人、15～64歳：2人、15歳未満：0人、ペット：犬1				

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位：■居室/ ■台所/ □浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ □クローゼット/ □ソソコ共用部分